



黄葉すすむ(11/7・那珂湊駅西)



第224号

勝田 阿字ヶ浦

急行あじがうら号
快速なかみなと号

新しい年の第一歩は湊線から

初日の出&初詣、先着乗車300名様には「開運福袋」をプレゼント

恒例の初日の出・初詣列車の運行を2026年(令和8年)元日(木)に実施します。海浜鉄道・応援団共同によるこの企画は18回目の開催で、毎回300名前後のお客様がご乗車し、好評をいただいております。ご乗車には「湊線1日フリー切符」(大人1,000円、子ども500円)が便利です。本州では犬吠埼に次いで早い初日の出と初詣のビューポイントへは、応援団員がご案内をします(3両編成のあじがうら号の乗車定員(240名)を大幅に超えた場合は、なかみなと号へのご案内となります)。過去17回の開催で、初日の出が拝めなかったことは1度だけです。ご家族・お友達お誘い合わせでぜひご参加ください。

急行あじがうら号

勝田5:29発一那珂湊5:44着一阿字ヶ浦5:57着(工機前は停まりません)
阿字ヶ浦駅(鐵道神社)一堀出神社・ほしいも神社一酒列磯前神社一ホテルニュー白亜紀臨(初日の出)
初日の出は午前6時49分です。

先着300名様に、ホテルニュー白亜紀無料入湯券(元日午前10時から使用可能)、ほしいも、携帯カイロなど「開運福袋」をプレゼント。神社やホテルでは甘酒等のサービスがあります。また、ホテル脇では日の出時刻に合わせて「和奏(わかな)」による太鼓や笛の演奏があります。



磯崎海岸からの初日の出



湊公園からの初日の出



堀出神社



檀原神宮

快速なかみなと号

勝田6:02発一那珂湊6:16着一磯崎6:28一阿字ヶ浦6:30着
那珂湊駅一天満宮一湊公園(初日の出)一檀原神宮一四郎介稲荷
※快速なかみなと号是那珂湊方面の初日の出・初詣企画です。

【主催】ひたちなか海浜鉄道株式会社
おらが湊鉄道応援団
【協力団体】酒列磯前神社・堀出神社・檀原神宮・天満宮・四郎介稲荷神社・茨城中央ほしいも協同組合・ホテルニュー白亜紀・ひたちなか商工会議所・和奏



阿字ヶ浦駅を降りた大勢のお客様



福袋や神社からのお土産

ことし元日の初日の出・初詣列車のようす
インフルエンザが流行しています。参加の方はマスクの着用にご協力ください。また、熱・咳のある方、体調不良の方は参加をご遠慮ください。

冬バージョンの応援券と硬券フリー切符を発売

12月1日(月)から来年2月末日まで、湊線応援企画の「湊線応援券」と「特製硬券1日フリー切符」の冬バージョンを那珂湊駅と勝田駅湊線改札で販売します。セット価格は通常のフリー切符と同額の1,000円です。

切符は特大の「D型倍寸硬券」で、旧型車の4連走行のイラストが描かれています。また応援券は、沿線の田んぼに飛来した白鳥たちと銅色列車です。ぜひお問い合わせください。



見本
湊線1日フリー切符
発行日: 2019.9.23 古瀬実業車4重連運行 大人1,000円
発行日から1年内で押印日1日限り有効
ひたちなか海浜鉄道株式会社

走る列車で落語を楽しむ

湊線の走る列車内で落語を楽しむ「列車で落語 いばらくinひたちなか海浜鉄道」が、12月6日(土)に上演されます。好評だった昨年6月に続いて2回目です。出演は茨城出身の落語家・立川志のぼん、柳亭市寿さんのお二人。那珂湊駅発着の全線一往復で軽快な話術を披露します。事前申込み(090-6009-8881・ショートメール可)は、前日12月5日まで。当日是那珂湊駅集合10時40分。約1時間半の上演です。木戸銭は2,000円+フリー切符1,000円。



昨日の列車内は、昨盛盛り、上は参加者、下は観客と

昨日の列車内は、昨盛盛り、上は参加者、下は観客と



ほとんど100円!

野菜&特産品の朝市 毎月第一日曜日に開催

■12月7日(日) 午前9時~11時頃まで
■那珂湊駅1番線ホーム ※ホームへの入場は無料です。

1月の朝市は
お休みです。

駅的环境整備ありがとうございます

駅名	12月7日(日)	1月11日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	神敷台 部田野小・谷金 十三奉行	湊中央 湊本町 商店街
殿山	和田町・殿山町 七丁目・牛久保町	
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

※朝8:30(高田の鉄橋駅・中根駅は8時)から実施します。
※たいへん寒くなってきました。作業の時は体調管理に気をつけてください。
※1月の環境整備は第2週の日曜日に実施します。

歳末の湊線沿線はイベント盛りだくさん

期 日	イ ベ ント	会 場
11/30(日)	日本旅行「おさかな列車」ツアー	湊線~海浜公園
12/1(月) 17:00~	駅前イルミネーション点灯式	那珂湊・勝田・佐和駅
12/6(土) 10:40集合	列車で落語 いばらくinひたちなか海浜鉄道	那珂湊駅~湊線乗車
12/6(土) 10:30~	よみきかせ列車3710としゃん号	那珂湊駅留置車両
12/7(日) 9:30~	第79回三浜駅伝競走大会	漁村センタースタート
12/7(日) 11:00~	第11回市民交流センターまつり	勝田駅東口公共広場
12/14(日)	おさかな列車<あんこうスペシャル>	湊線~ほしいも神社など
26年1/1(木・元日)	湊線 初日の出・初詣列車	勝田駅~阿字ヶ浦・那珂湊

お出かけは湊線のご利用が早くて確実です

歳末の那珂湊地区周辺道路は大変混雑します。勝田駅周辺の市営や民間の駐車場を利用して、湊線でのお出かけが便利で確実です(勝田一那珂湊17分・おとな片道350円、1日フリー切符大人1,000円・小人500円)。

湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」17,700名を達成しました!



感謝

檀原神宮・天満宮 宮司 吉澤 和子さん



湊線は40年程前、高校生の時に通学で利用していました。当時は2両、時には3両の時もあったように記憶しています。今も那珂湊駅は相変わらずレトロな感じで、変わっていない安心感があります。阿字ヶ浦の先も延伸されるよう国へ認定申請されたとのこと。ひたちなか海浜鉄道が益々発展されることを祈念致します。



さて、海浜鉄道も地元の人達に愛され支えられていますが、那珂湊駅より徒歩10分程の湊公園の下に天満宮が鎮座しております。今年の8月に開催されたみなと八朔まつりは、天満宮の御祭禮です。この天満宮も氏子をはじめ湊の人達に支えてもらっています。現在は本殿の改修工事をしております。

天満宮の創建は、今より760余年前、亀山天皇の頃とされます。長い歴史の中においては、水戸藩主の崇敬厚く御参拝、御祭礼上覧も遊ばされる神社でした。

昭和47(1972)年に拝殿が不審火により全焼してしまい、翌年関係各位氏子のご尽力により再建されました。不幸中の幸いで本殿は火から免れたのでした。

この本殿については、文化3(1807)年に本殿改修を行っていますが、老朽化や地震の影響などで土台や屋根も傷み、本殿が右に傾いて倒壊の心配ができました。そこで、昨年9月、責任役員、各町総代様のご協力により天満宮本殿改修奉賛会の発足を頂くと同時に、迅速に氏子の皆様をはじめ、崇敬者の方々よりご奉賛を賜わり、改修のための目標額を達成することが出来ました。

経済状況が厳しいにもかかわらず、天満宮本殿改修にご理解を頂きましたことは、大神様への感謝の念、天満宮に寄せる温かく優しいお気持ち、祭で結びついている絆を実感致しました。今は遠くにいるけれど、湊・天満宮によせる熱く静かな思い、或いは体調が優れず自宅を離れているが、天満宮の件を知り家族に託して届けてくださった方等、本当に沢山の方々の天満宮へのお気持ち、大変有難く心より御礼申し上げます。

皆様には、大神様のご加護をいただき、心穏やかに健やかに過ごしてくださいようご祈念申し上げます。

これからの湊線

ひたちなか海浜鉄道 管理課長 後藤 芳彦さん

4月より、ひたちなか市からひたちなか海浜鉄道に派遣となり、早いもので半年以上になりました。昨年度は、ひたちなか市企画調整課で、湊線支援業務や延伸に向けた計画策定業務を担当しており、まさか、自分が海浜鉄道派遣となるとは夢にも思っていませんでした。



いざ、ひたちなか海浜鉄道で仕事を始めると、市職員の立場での湊線支援の仕事とは違い、直接乗客の皆様と接する機会が多く、様々な気づきがありました。美乃浜学園の児童生徒の登下校時の安全見守りの業務では、登下校に多くの子供たちが湊線を利用しているのを目の当たりにし、地域の皆様の利用に支えられている鉄道だということを実感しました。また、休日には多くの観光客の方にご利用いただいております、ひたちなか市にとって必要不可欠な大事な公共交通機関だということを再認識しました。

今後、湊線は国営ひたち海浜公園方面への延伸が控えています。国から工事施工認可もいただき、いよいよ事業の実施に入っていくという局面にあります。市民の皆様をはじめ、ひたちなか市を訪れる観光客の皆様にも湊線を応援していただき、ひたちなか市とともに確実に延伸事業を進めていきたいと考えています。

皆様に愛される湊線を後世に残していくため、ひたちなか市とひたちなか海浜鉄道とで延伸事業を進めてまいりますので、どうか温かい目で見守りくださいますようお願いいたします。